

豊橋技術科学大学長 殿

平成 9 年 2 月 25 日

審査委員長 三宅 醇 (印)

論文審査及び最終試験の結果報告書

このことについて、下記の結果を得ましたので報告いたします。
記

学位申請者	池田 朋子	学籍番号	第 881601 号
申請学位	博士(工学)	専攻名	システム情報工学
論文題目	都市・自然景観イメージの小説解読手法に関する研究		
公開審査会の日	平成 9 年 2 月 21 日		
論文審査の期間	平成 9 年 1 月 22 日～平成 9 年 2 月 25 日	論文審査の結果	合格
最終試験の日	平成 9 年 2 月 21 日	最終試験の結果	合格

論文内容の要旨

本論文は、従来の都市景観計画・設計の概念に不足していた景観イメージの解明を目指し、文芸作家による小説を素材に都市・自然景観イメージの解読手法の開発を試みている。論文は7章から構成され、序章では研究の背景と目的を述べ、第1章では、言説を分析対象としたこれまでの空間イメージ研究の手法を比較考察し、手法論開発の指針を得ている。第2章では、1章の知見と小説のテキスト特性を踏まえ、景観イメージの小説解読手法として、テキストを舞台、場面、シークエンスで分割し、デノテーションレベルの定量的分析とコノテーションレベルの定性的分析を組み合わせる基本的枠組みを提示している。第3章から第5章では、その基本的枠組みを実際の小説に適用し、実践的手法論へ展開している。まず第3章では、評価の確立している都市小説一作品の分析から、景観は時間とともに変化すること、視覚のみでなく聴覚や触覚によって総合的に捉えることの必要性を指摘している。第4章では、高山市を事例に一都市を舞台とした複数作家の作品を対象に手法論の進展を図るとともに、その都市らしさを代表する地域景観を具体的に示している。第5章では、芥川賞受賞作品群より、自然景観要素の定量的分析と視点場、視対象、景観の構成、付随する心象をデータベース化し、景観要素に託された意味の定性的解読を行い、自然景観イメージの変遷を明らかにしている。終章では、本研究を総括している。

審査結果の要旨

景観は意味や価値を伴い総合的に環境を捉える概念であり、近年の都市生活環境の質向上に重要な要素として都市計画分野の大きな課題となってきた。従来の都市計画分野における景観研究では、主に被験者の評価に基づく心理実験的手法によりその解明が進められてきた。しかしその手法的限界から絵画や歌等のテキストに表現された景観を分析し、景観計画・設計の指針を得ようとする研究が近年盛んになっている。本研究は、このようなテキスト景観研究分野で、初めて文芸作家による小説をテキストとして都市・自然景観イメージの解明を目指したものである。小説という新しい素材から都市景観イメージを解読する手法論の基本的枠組みを提示し、それを実践的手法論へ発展させている。高山市を事例に特定都市の代表的地域景観を具体的に分析し、提案した手法の景観計画への実践的応用可能性を示した。さらに小説が景観イメージのモデル形成機能を持ち、このことでよりよい景観づくりへの合意形成に役立ち得ることを確認している。このように景観イメージ解明の素材としての小説の有効性とその小説解読手法の可能性を切り開いた点で、今後の都市景観研究の進展に大きな貢献をする研究となっている。よって、博士(工学)の学位論文に相当するものと判定した。

審査委員

三宅 醇 (印) 渡邊 昭彦 (印) 加藤 彰一 (印)
大貝 彰 (印) 印 印

(注) 論文審査の結果及び最終試験の結果は「合格」又は「不合格」の評語で記入すること。